

小故謂婦大於夫者稱蚤之婦夫矣凡蟲蠱莎雞蟋蟀蠱斯之類亦雄小而不好鳴雌大而善鳴也如鶯雲雀山雀等小鳥雄大而善嘯雌小而不能嘯上下各別也

〔重修本草綱目啓蒙二十七〕狗蠅略

附錄壁蝨略

蚤和名一名訖蚤事物紀原毛隱同上跳蚤訓蒙

〔枕草子三〕のみもいとにくし衣のゑたにをどりありきて人をもだえるやうにするよ

〔古事談三〕此聖人性空僧ハ得六根淨之人也或時客人來臨對面間懷中ニ蚌ヲトリテ捻ケリ于時

聖人云イカニサハノミヲバ捻殺ムトハシ給ゾトテ大ニ悲歎給ケリ客人耻テ退散云々

〔源平盛衰記十一〕大地震事

昔モ今モ怨靈ハ怖キ事也墓ノ息天ニ上ト云事モアルゾカシ

〔梅園日記二〕墓息

のみの息天へあがるといふは近き頃の諺にて長頭丸油かす以下の書に見えたりされども墓の字をノミとよまむ事あるまじく思ひしに南浦文集に我日本之諺有之曰蝦墓之嘆息其氣昇天とあるに據れば盛衰記の墓はヒキとよむべし

〔沙石集七下〕無嫉妬之心人事

有人ノ妻マオトコトネタリケル時夫俄ニネヤノウチヘイラントスイカニシテカニガサント思テ衣ノノミトル由ニテニガサントテマオトコノハダカナルヲムシロニカヒマヒテ衣ノノミトラントテスピツヲトビ越ケルホドニスベラカシテスピツニドウトヲトシツ男是ヲミテ目見ノベ口ヲホヒシテノドカナル氣色ニテアライシノノミノ大サヤト云テナニトモセザリケレバ勢ハ大ナレドモ小ノミノ如クモトバズシテハダカニテハヒニゲニケリ